

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 4 月 10 日

事業名称		郷土博物館事業費 [郷土博物館事業]									
予算科目	款 10	教育費	項 4	社会教育費	目 4	郷土博物館費	事業番号	2			
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	社会教育		課		郷土博物館		係	課長名	高田匡章		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	1 - 4			
【施策名】 市民文化の振興							総合計画書 (ページ)	41			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	市民				市の人口						
	→										
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
郷土の自然・歴史・くらし(民俗)への興味関心を深め・理解する。				来館者数							
→											
③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
①企画展示の開催、②プラネタリウムの投影、③観察会などの事業の開催、④学校授業(学習投影を含む)の受け入れ その他、ロビー展示、資料の受け入れ、整理・保管、狭山緑地の野鳥・チョウ調査、オオムラサキの保護活動、印刷物の発行など。				①企画展示開催数 ② プラネタリウム観覧者数 ③自然観察会他の開催回数 ④ 学校授業への講師派遣件数							
→											
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標			
	対象指標	①の数値	人	85,857	85,698	85,337					
	成果指標	②の数値	人	49,512	53,588	45,561					
	目 標	②の目標値	人			54,000	54,000	54,000			
目標値設定の考え方 前年度を上回る数値とした											
活動指標		③の数値	①回 ②人 ③回 ④件	①6回 ②15,988人 ③172回 ④148件	①6回 ②16,313人 ③179回 ④135件	①6回 ②15,593人 ③145回 ④103件					
3 経費	事業費(実績)		円	7,502,578	7,954,349	7,526,999	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	一般財源		円	7,502,578	7,945,149	7,522,699					
	特定財源		円	0	9,200	4,300					
	(うち受益者負担)		円	0	9,200	4,300					
	所要人数(再任用以外)		人	2.0	2.0	2.0					
	所要人数(再任用)		人	0.7	0.7	0.7					
	職員人件費(再任用以外)		円			16,620,000					
職員人件費(再任用)		円			2,107,000						
事業費+人件費		円	7,502,578	7,954,349	26,253,999						
4 環境変化等	(1) 開始年度		6 年度								
	(2) 環境の変化										
新型コロナウイルス拡散防止のため、小中学校は2月28日を最後に臨時休校、郷土博物館も3月5日から臨時休館となったため、活動指標に影響が出た。臨時休館により、3月中に実施予定だった学校授業、観察会などのイベント、プラネタリウム投影、企画展示が開催できなかった。											

事業名称	郷土博物館事業費 [郷土博物館事業]			
担当部署・課長名	社会教育	課	郷土博物館	係 課長名 高田匡章

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	常設展示の街並の写真の更新、平日のプラネタリウム投影回数の増加についての要望がそれぞれ市政ハガキにより要望された。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☒ 取り組んだ	取組手法：①共催：講座等、③事業協力：観察会、学校授業等、⑧作業協力：オオムラサキ増やし隊活動		
	☐ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
	情報共有と話し合い、個人の考えを大切にしつつもお互いが共通理解と目標を持って活動していくこと。			
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記）			
	（企画展示について）前年と違う展示方法（展示の配置）を検討する。 （プラネタリウムについて）評判のいい番組を選定したいが番組価格が高くなり、その結果、同じ番組（1年間の投影権）を長期間再投影することになる。なるべく多様な番組投影ができるよう心がける。 新たな広報活動の検討			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。			
	（企画展示について）ひなまつりの展示について、展示資料を厳選し開催できた。 （プラネタリウムについて）多様な番組投影を行った（震災番組を2本投影するなど）。新たな広報手段としてYouTubeやコミュニティビジョンを活用するようにした。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）			
	新たな広報手段の有効な活用			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）			
	施策名： 市民文化の振興			
	☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止			
	【取組内容】 地域の自然、歴史、民俗（くらし）、日本画家・吉岡堅二に関すること、宇宙のこと（具体的には、土の中に埋まっている縄文土器、はたおり体験、狭山丘陵を舞うオオムラサキ、吉岡堅二の日本画作品、小惑星探査機はやぶさ2）など幅広く情報提供をしながら、今後も来館者に東大和の魅力を伝えていく。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	新型コロナウイルス拡散防止による臨時休館が終わってからの事業展開（安全・安心に学習していただくための対策）			